

第37回近畿地域福祉学会 滋賀大会

自由研究発表・実践活動報告 募集

第37回近畿地域福祉学会滋賀大会では、自由研究発表・実践活動報告を募集いたします。日頃の研究や実践活動をまとめ、発表する機会として是非ご利用ください。

特に、若手研究者、社会福祉協議会等や諸団体等において地域福祉実践に取り組む皆さまからのご応募をお待ちしています。

1. 発表・報告者の条件

発表・報告には、日本地域福祉学会会員の資格が必要です(学会員で会費の滞納がない者)。学会員でない方は、入会手続きをお願いします。なお発表の申込み時に学会員でなくても、入会申請中であれば発表を認めます(入会手続きは日本地域福祉学会 <https://jracd.jp/procedure/admission> をご覧ください)。団体会員としての発表・報告の条件は、下記のとおりとします。

- 団体会員の近畿地域福祉学会における自由研究発表、実践活動報告は**1団体3報告まで**とします。
- 代表発表者は1人につき1演題までの発表・報告とします。
- 報告は加入団体名+代表発表者 氏名 とします。
未法人の区社協からの報告は、指定都市社協名で報告してください。(加入団体名+代表発表者 氏名)
※団体会員としての報告の業績(発表内容の責任)は加入団体に帰属します。

なお、共同研究発表の場合でも、非会員の連記は認められません。応募の際には、学会会員番号、あるいは申請中であることを明記してください。

不明な点は、近畿地域福祉学会滋賀大会事務局(E-mail:enishi@shigashakyo.jp)までお問い合わせください。

2. 自由研究発表・実践活動報告の申込方法

申込締切:令和7年11月21日(金)必着

申込方法:電子メールによるデータ提出

下記の申込先メールアドレスに様式1と様式2を添付してお送りください。

申 込 先:大会事務局(滋賀県社会福祉協議会 地域福祉課)

E-mail: enishi@shigashakyo.jp

3. 発表・報告の方法について

- ① 今大会での自由研究発表・実践活動報告は、会場での口頭発表のみとします。
- ② 1件あたりの所定時間は発表15分、質疑10分の合計25分です。
- ③ 発表レジュメ様式は、別紙のとおりです。留意事項を確認いただき、PDF データでご提出ください。
なお発表レジュメは大会資料としてすべての参加者へ配付します。
- ④ 自由研究発表の際に配慮を必要とする方は、その内容を申込書に記載してください。
- ⑤ 当日配布資料がある場合は、発表者が30部程度、持参してください。大会事務局では、印刷・コピー事務は対応できませんのでご注意ください。また配布資料の作成については、日本地域福祉学会の「研究倫理指針」を十分確認し倫理的配慮を行ってください。
(<https://jracd.jp/society/rinri>)

※ 発表・報告の可否、当日の時間、投映資料の取扱い等は、応募者あて個別に連絡します。

